

地域で支え合う
安全安心なまち

地域の課題解決に向けた自治会活動の連携や住民主体の地域づくり活動を支援していくとともに、集会所等施設整備費助成事業を継続していきます。

社会生活でのデジタル活用においては、引き続きマイナンバーカードの取得促進を図り、来庁者が窓口で書かずに証明書等の申請手続ができる「書かない窓口」を運用しながら、住民サービスの更なる向上を推進していきます。

災害・危機に強いまちづくりにおいては、防火貯水槽更新工事を実施するとともに、消防団に小型動力ポンプ積載車と小型動力ポンプを配備し、装備充実を図っていきます。また、3年連続で水害に見舞われている洪水対策として、内水氾濫対策に迅速な対応ができるよう排水ポンプを調達し、消防団に配備していきます。

環境にやさしいまちづくりにおいては、カーボンニュートラルに関する普及啓発事業を継続するほか、新たに公共施設への太陽光発電設備導入調査を実施していきます。

生活環境の整備充実においては、「三種町空家等対策計画」に基づき、全町の空家実態調査を実施し、調査結果をデータベース化した上で、所有者等の管理責任の意識啓発を図るとともに、適正な

管理を促し、解体に係る補助金利用を所有者等へ周知していきます。また、適正な管理が行われない空家所有者等に対しては、指導・勧告など必要な措置を講じていきます。

廃棄物処理対策においては、令和8年4月から本格稼働する新たな廃棄物処理施設へのごみの受け入れが令和8年1月から始まるため、可燃ごみ・不燃ごみの収集運搬業務が適切に行える体制を整備していきます。

下水道事業施設の適切な保守管理においては、ストックマネジメント計画と農業集落排水事業機能診断・最適整備構想により、施設の統廃合や効率的な汚水処理施設の整備を図っていきます。

持続可能な公共交通体系の維持においては、引き続き住民共助運行団体や公共交通事業者と連携を図り、利用者の利便性向上と安全運行を実施していきます。

道路交通網の整備においては、各自治会からの要望に対応し、住民生活と密接な生活道路や通学路の維持管理を優先して実施するための予算を確保し、町民の暮らしを支える、安全・安心な道路環境の整備を図っていきます。

居住環境の整備においては、「町営住宅等長寿命化計画」に基づき、住宅建て替えの調査設計や修繕工事を進め、町営住宅の長寿命化に取り組んでいきます。また、空き住宅を収入要件などで入居できなかった方が入居できる住宅として

転用し、居住の安定を図っていきます。住宅リフォームへの支援については、居住環境の向上、定住人口の定着と地域経済対策を推進するため、住宅リフォーム助成事業を継続していきます。

安定した
行財政運営のまち

効率的な行政運営と住民サービス向上のため、DXを活用した行財政手続きの効率化を推進していきます。

健全で計画的な財政運営においては、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の推進により、関係人口拡大やまちづくりに関する企業との連携を推進していきます。

広域連携の推進においては、人口減少社会においても、快適で安心できる暮らしと衛生的な水環境を将来にわたって維持するため、管路施設包括的民間委託を活用し、生活排水処理事業に対応していきます。

行政報告

企画政策課

◆オンラインによる施設予約
町内のスポーツ、文化、コミュニケーションによる利用予約の受け付けを

開始しました。2月17日現在、個人と団体あわせて153件の登録があります。

◆セミセルフレジの導入

町民生活課と各支所の窓口にて、戸籍や住民票、税関係の証明書等の支払いをキャッシュレス決済で行えるセミセルフレジを設置しました。各支所では、税金等の納付もセミセルフレジで対応できますが、現金のみの取り扱いとなります。

◆包括連携協定の締結

三種町沖で洋上風力事業を計画している秋田能代・三種・男鹿オフショアウィンド合同会社と、町の課題解決を目的とした地域共生に関する包括連携協定を締結しました。

また、株式会社共立ソリューションズと、地域資源を活用した観光や産業振興等を目的とした地域活性化に関する包括連携協定を締結しています。

◆町民生活課

◆消防出初式

1月4日、琴丘総合体育館において消防出初式が開催されました。当日は消防団員と三種消防署職員、来賓など、228人が出席し、県知事表彰など、80人の団員と優良警火団2団体、無火災分団4分団、また自治体消防75周年記念表彰として家族で現職消防団員が3人以上いる2家族にそれぞれ表彰状や感謝状が贈呈されました。